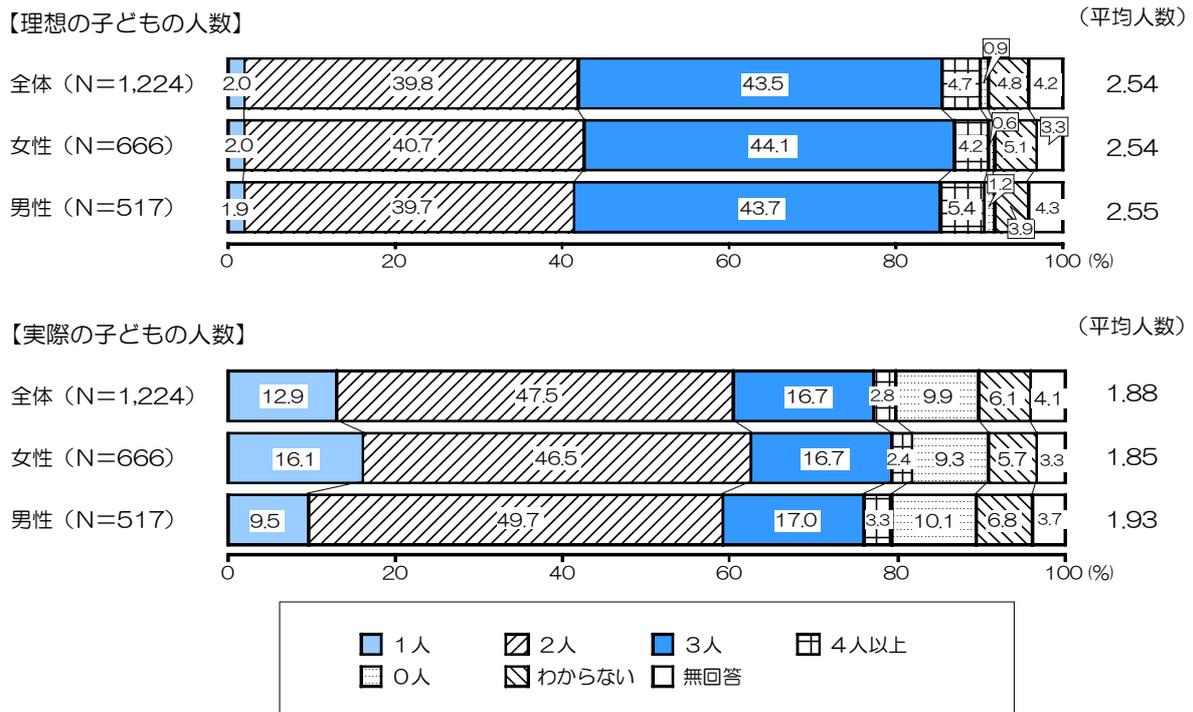


4 子育てや子どもの教育について

4-1 理想の子どもの人数、実際の子どもの人数

- 問 14 (1) あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。(1つだけに○印)
 (2) 実際の子どもの数は何人ですか(何人になりそうですか)。(1つだけに○印)

図4-1 理想の子どもの人数・実際の子どもの人数



※平均人数は「わからない」、「無回答」を除いた件数を母数とし、「4人以上」は4人として算出している

《ポイント》

- 理想の子どもの人数は、全体の平均で2.54人、実際の子どもの人数は、1.88人と理想より低い。
- 実際の子どもの人数では、男性の方が平均でやや多い。

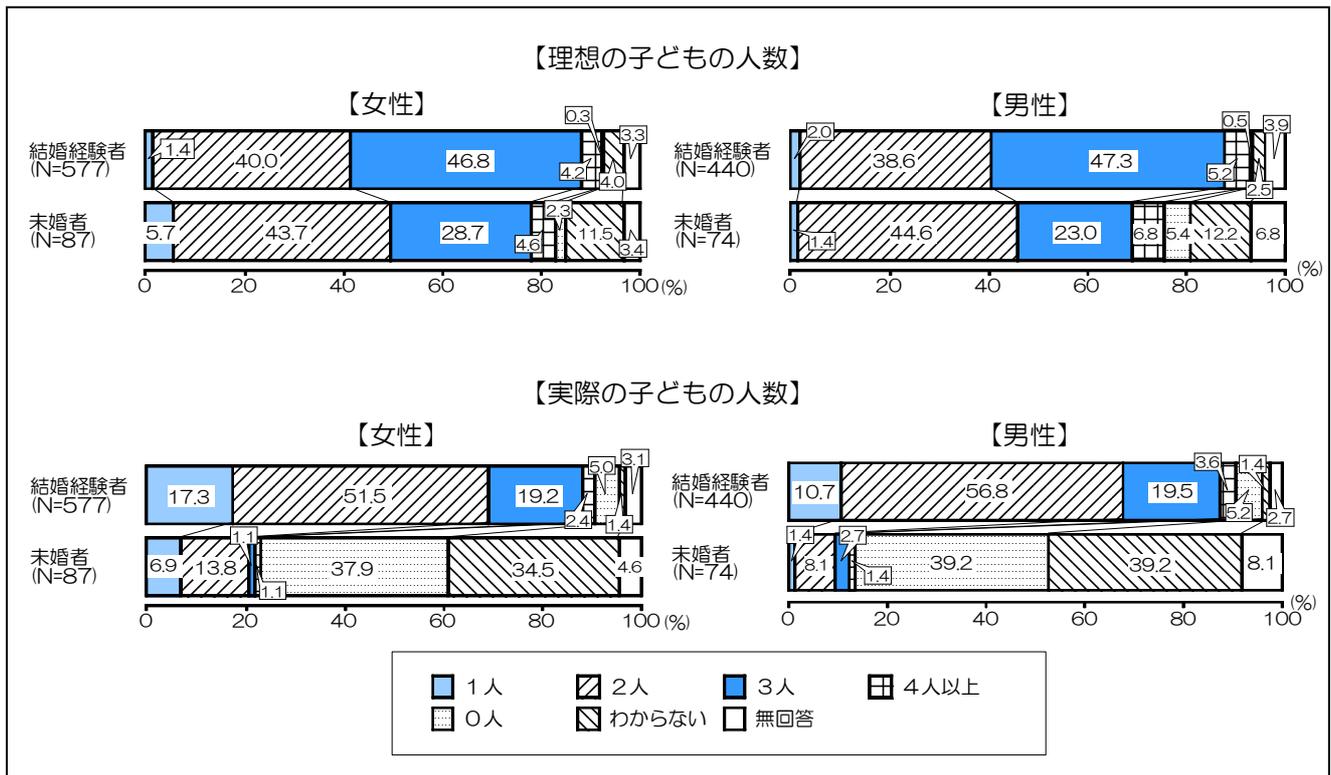
理想の子どもの人数について、全体では「3人」という人の割合が43.5%と最も高く、次いで、「2人」が39.8%で合わせると8割以上が2～3人と回答しており、平均人数でも2.54人となっている。

性別にみると、「2人」、「3人」と回答した人の割合はともに女性の方が若干高くなっているが、平均人数は女性が2.54人、男性が2.55人と男性の方が若干高くなっている。

実際の子どもの人数について、全体では「2人」という人が47.5%と最も高く、次いで、「3人」が16.7%、「1人」が12.9%となっている。平均人数は1.88人となっている。

性別にみると、「1人」と回答した人の割合は女性の方が6.6ポイント高くなっているが、「2人」、「3人」では男性の方が若干高くなっている。平均人数では女性が1.85人、男性が1.93人で男性の方が若干高くなっている。(図4-1)

図4-1-1 結婚の有無別 理想の子ども的人数・実際の子ども的人数



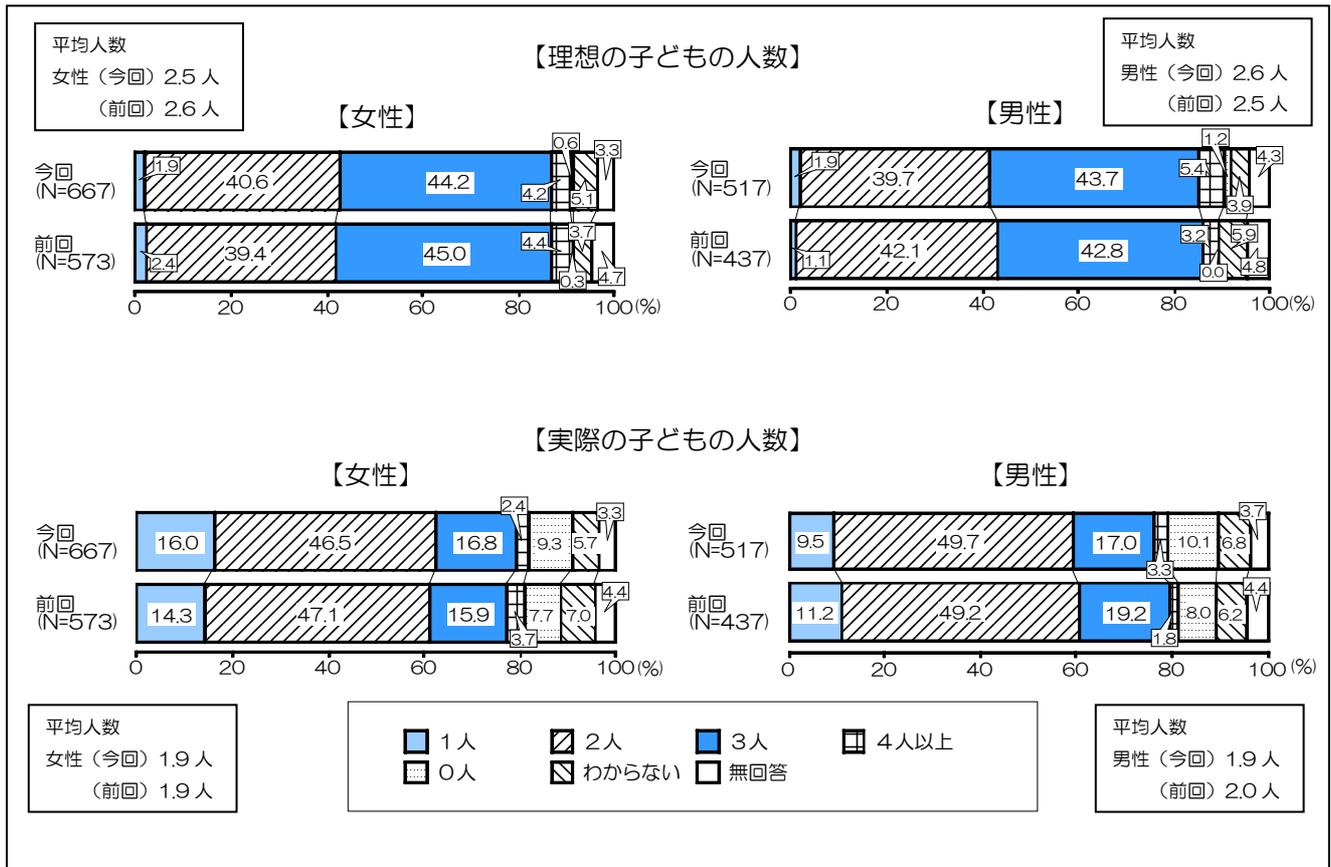
《ポイント》

- 理想の子ども的人数が「3人」という人の割合は男女とも、結婚経験者は4割台、未婚者は2割台と差が大きい。
- 未婚者の理想の子ども的人数は、男女とも約4割が「2人」となっている。

結婚の有無別にみると、理想の子ども的人数では、男女とも、結婚経験者は未婚者よりも「3人」という人の割合が20ポイントほど高く、未婚者は「2人」が4割以上となっている。また、未婚の女性は「1人」という人の割合が結婚経験者よりも4.3ポイント高くなっている。実際の子ども的人数では、未婚者は男女とも、「0人」、「わからない」が高く、合わせると女性で7割、男性で8割程となっている。それを除くと、男性は「2人」が高く8.1%、女性では「2人」が13.8%、「1人」が6.9%となっている。

(図4-1-1)

図4-1-2 前回調査比較 理想の子ども的人数・実際の子ども的人数



《ポイント》

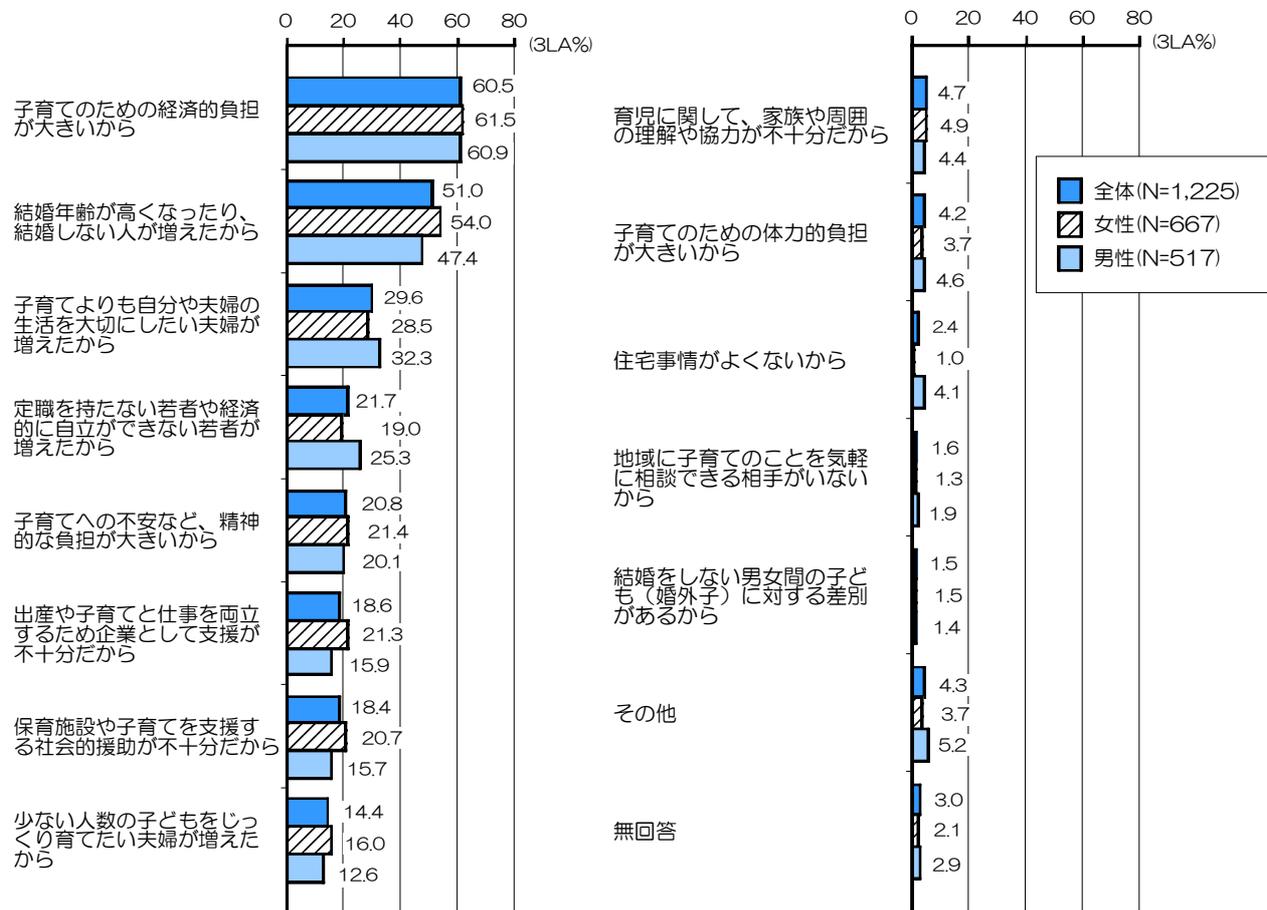
○理想の子ども的人数と、実際の子ども的人数は、いずれも、前回調査と比べてもほとんど変化が見られない。

前回調査と比較すると、理想の子ども的人数では、女性は「2人」という人の割合が若干増加し、「3人」という人の割合は減少し、大きな差はみられないが、平均人数は2.6人から2.5人と減少している。男性は「3人」及び「4人以上」という人の割合が増加している。平均人数も2.5人から2.6人と増加している。実際の子ども的人数は、女性は、「3人」という人の割合は増加しているが、「0人」、「1人」という人もともに増加している。男性は、「0人」という人の割合が増加しており、平均人数は2.0人から1.9人と減少している。(図4-1-2)

4-2 子どもの減少の理由についての考え

問15 最近、生まれてくる子どもの数が減っています。それはなぜだと思いますか。(3つまでに○印)

図4-2 子どもの減少の理由についての考え



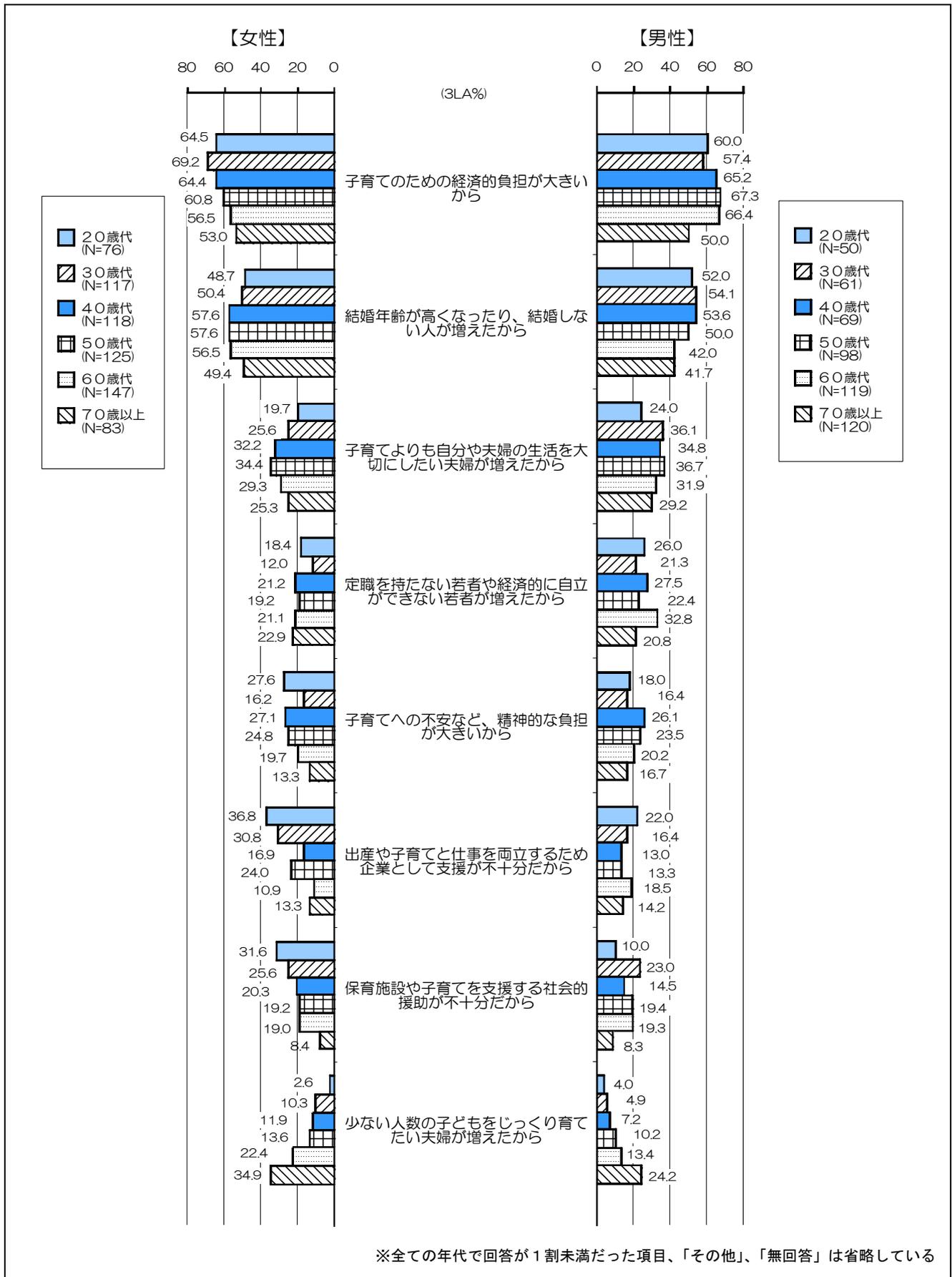
《ポイント》

- 男女ともに「経済的負担」と答えた人の割合が最も高く、次に、「結婚年齢が高くなったり、結婚しない人が増えた」ことを理由にあげている。
- 「若者が経済的に自立できない」では、男性の方が高く、「出産や子育てと仕事を両立のための企業の支援が不十分」、「保育施設や子育てをする社会的援助が不十分」では、女性の方が割合は高い。

子どもの減少の理由についての考えについて、全体では「子育てのための経済的負担が大きいから」が60.5%と最も高く、次いで、「結婚年齢が高くなったり、結婚しない人が増えたから」が51.0%と半数を超えている。

性別にみると、男女差が大きく表れた項目は少なく、「結婚年齢が高くなったり、結婚しない人が増えたから」では6.6ポイント、「出産や子育てと仕事を両立するため企業として支援が不十分だから」で5.4ポイント、「保育施設や子育てを支援する社会的援助が不十分だから」で5.0ポイント女性が高く、「定職を持たない若者や経済的に自立できない若者が増えたから」では6.3ポイント、「子育てよりも自分や夫婦の生活を大切にしたい夫婦が増えたから」で3.8ポイント男性の方が高くなっている。(図4-2)

図4-2-1 性年齢別 子どもの減少の理由についての考え

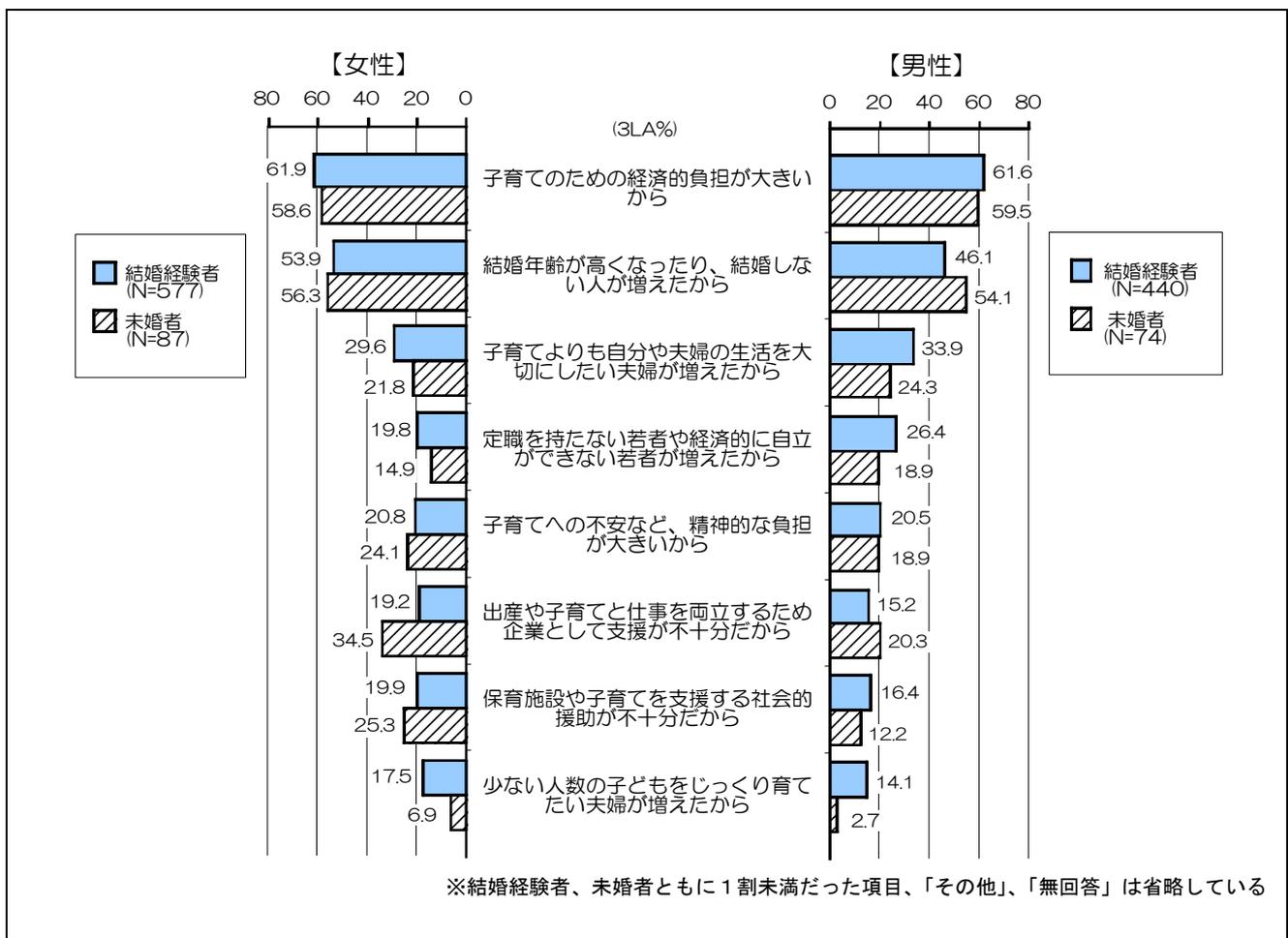


《ポイント》

- 「経済的負担」は女性では若年層、男性では高年齢層で割合は高い。
- 「結婚しない人が増えたから」という考えは、女性は高年齢層、男性は若年層で高い。

性年齢別にみると、「子育てのための経済的負担が大きいから」は女性では30歳代（69.2%）を中心に若年層で高いが、男性では50歳代（67.3%）を中心に高年齢層で高くなっている。逆に、「結婚年齢が高くなったり、結婚しない人が増えたから」は女性は40、50歳代（57.6%）と60歳代（56.5%）で高いのに対し、男性は30歳代（54.1%）を中心に若年層で高くなっている。「少ない人数の子どもをじっくり育てたい夫婦が増えたから」では男女とも年代が上がるほど割合は高くなっている。（図4-2-1）

図4-2-2 結婚の有無別 子どもの減少の理由についての考え



《ポイント》

- 「結婚しない人が増えたから」、「企業としての支援が不十分」は男女とも未婚者の方が割合は高い。

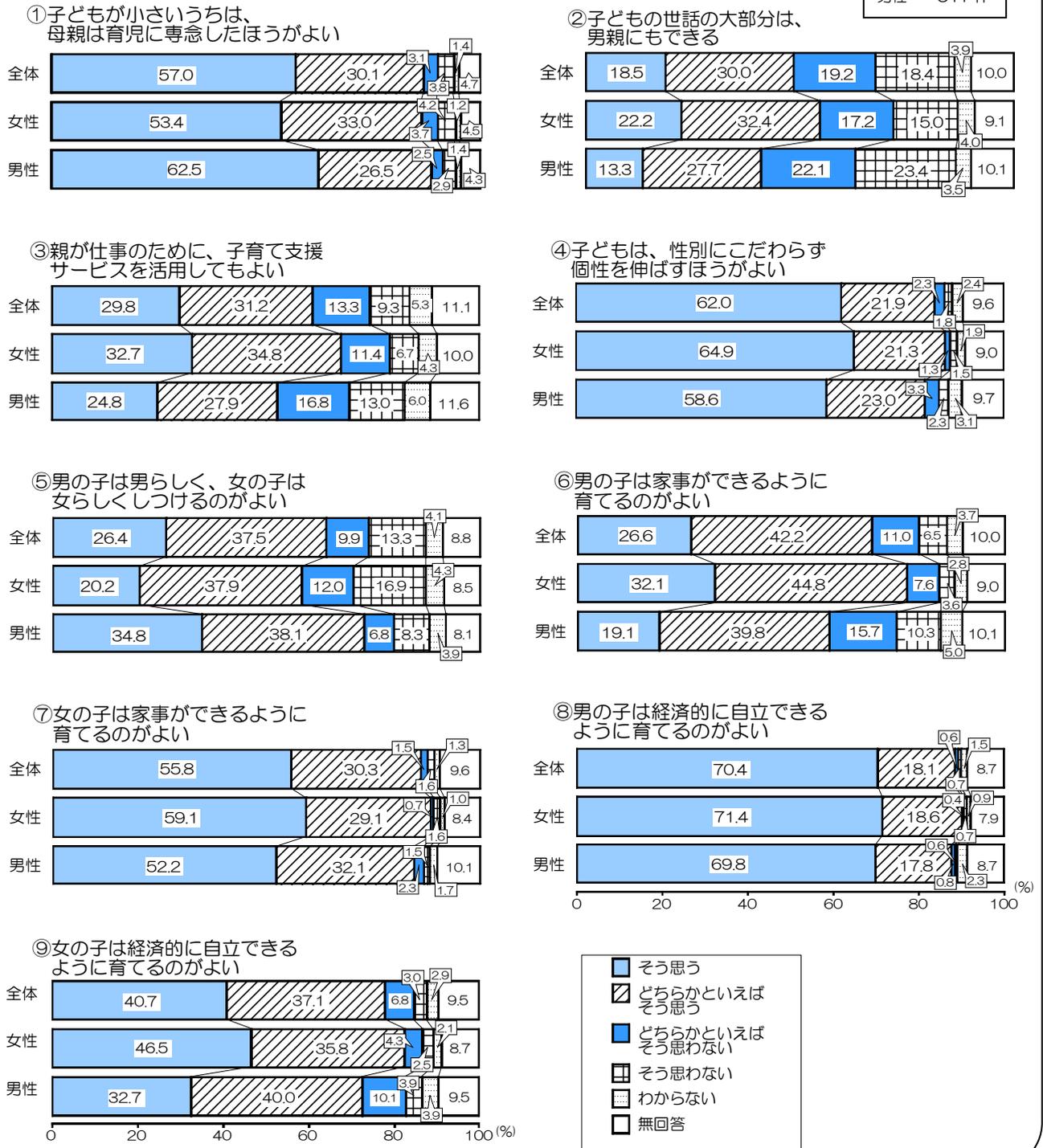
結婚の有無別にみると、「結婚年齢が高くなったり、結婚しない人が増えたから」は男女とも未婚者の方が高くなっているが、男性の方が差は大きくなっている。「出産や子育てと仕事を両立するため企業として支援が不十分だから」も未婚者の方が高いが、女性の方が差は大きくなっている。「子育てよりも自分や夫婦の生活を大切にしたい夫婦が増えたから」、「定職を持たない若者や経済的に自立できない若者が増えたから」は男女とも結婚経験者の方が高いが、差は男性の方が大きくなっている。（図4-2-2）

4-3 子育てについての考え

問16 子育てについて、あなたのご意見に近いものはどれですか。(①～⑨の項目それぞれについて、1つだけに○印)

図4-3 子育てについての考え

全体 1,225件
女性 667件
男性 517件



《ポイント》

○「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」、「子どもは、性別にこだわらず個性を伸ばすほうがよい」、「女の子は家事ができるように育てるのがよい」、「男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」は、いずれも肯定的な意見が8割以上を占める。

○「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」、「男の子は家事ができるように育てるのがよい」などでは女性の肯定的な意見が多く、「男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけるのがよい」は男性の肯定的な意見が多い。

○女性は高年齢層になるほど、「男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけるのがよい」とする肯定的な意見は多くなるが、逆に「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」では少なくなる。

(図4-3-1)

○「親が仕事のために、子育て支援サービスを活用してもよい」は女性の30~40歳代で、男性では40~50歳代で肯定的な意見が多い。(図4-3-1)

子育てについての考えについて、「①子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」では全体で、『肯定的意見』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの)は87.1%で『否定的意見』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせたもの)を大きく上回っている。性別にみると、『肯定的意見』は男性の方が若干高いが、「そう思う」という人の割合では、男女間の差が大きく、男性の方が9.1ポイント高くなっている。

「②子どもの世話の大部分は、男親にもできる」では、全体で『肯定的意見』は48.5%とほぼ半数を占める。性別にみると、女性では『肯定的意見』は54.6%と半数を超えるが、男性では『肯定的意見』は41.0%にとどまり、『否定的意見』の45.5%を下回っている。

「③親が仕事のために、子育て支援サービスを活用してもよい」では、全体で『肯定的意見』は61.0%と6割以上となっている。性別にみると、『肯定的意見』は女性の方が67.5%と男性よりも14.8ポイント高くなっている。

「④子どもは、性別にこだわらず個性を伸ばすほうがよい」では、全体で『肯定的意見』は83.9%と高く、『否定的意見』(4.1%)を大きく上回っている。性別にみると、『肯定的意見』は女性では86.2%、男性では81.6%と女性の方が若干高くなっている。

「⑤男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしくしつけるのがよい」では、全体で『肯定的意見』は63.9%と6割ほどとなっている。性別にみると、『肯定的意見』は女性では58.1%、男性では72.9%と男性の方が14.8ポイントも高くなっている。

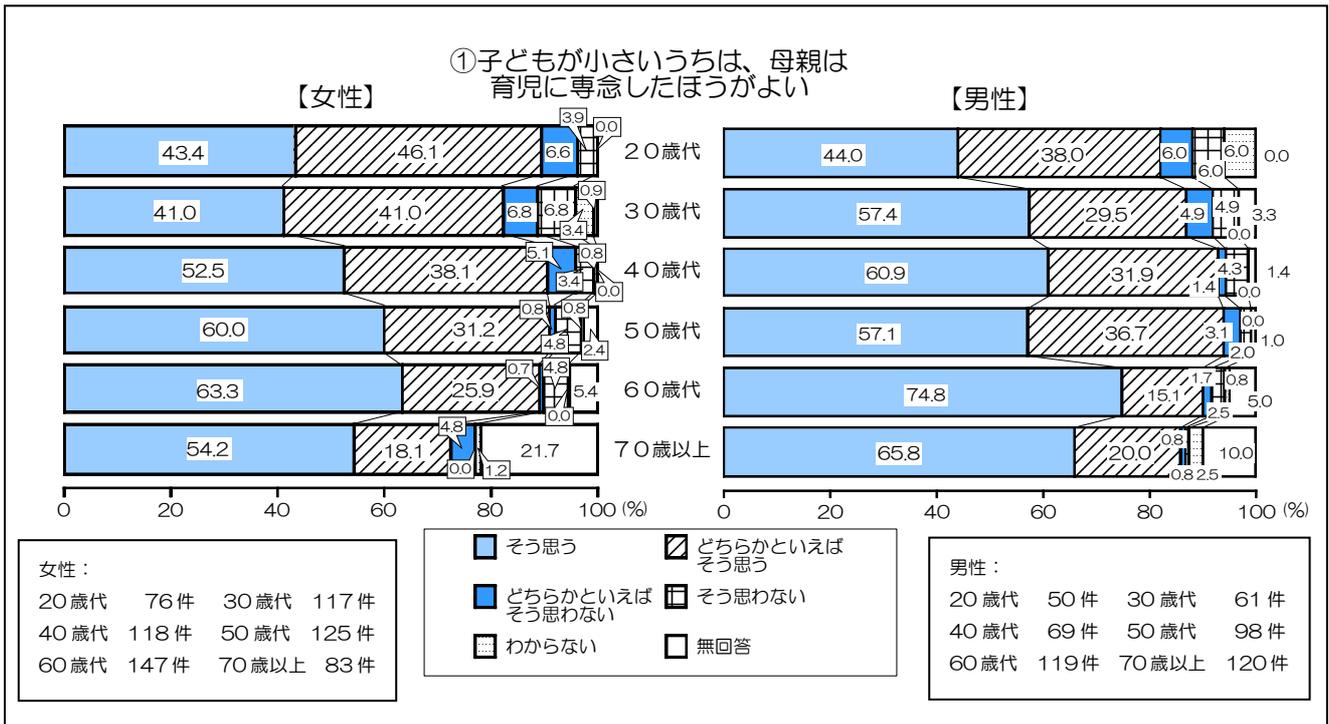
「⑥男の子は家事ができるように育てるのがよい」では、全体で『肯定的意見』は68.8%と『否定的意見』(17.5%)を大きく上回っている。性別にみると、『肯定的意見』は女性では76.9%と男性の58.9%と比べ、18.0ポイントも上回っている。

「⑦女の子は家事ができるように育てるのがよい」では、全体で『肯定的意見』は86.1%と『否定的意見』(3.1%)を大きく上回っている。性別にみると、『肯定的意見』は女性で88.2%、男性で84.3%と女性が若干高く、「⑥男の子は家事ができるように育てるのがよい」の男女差と比べて小さくなっている。

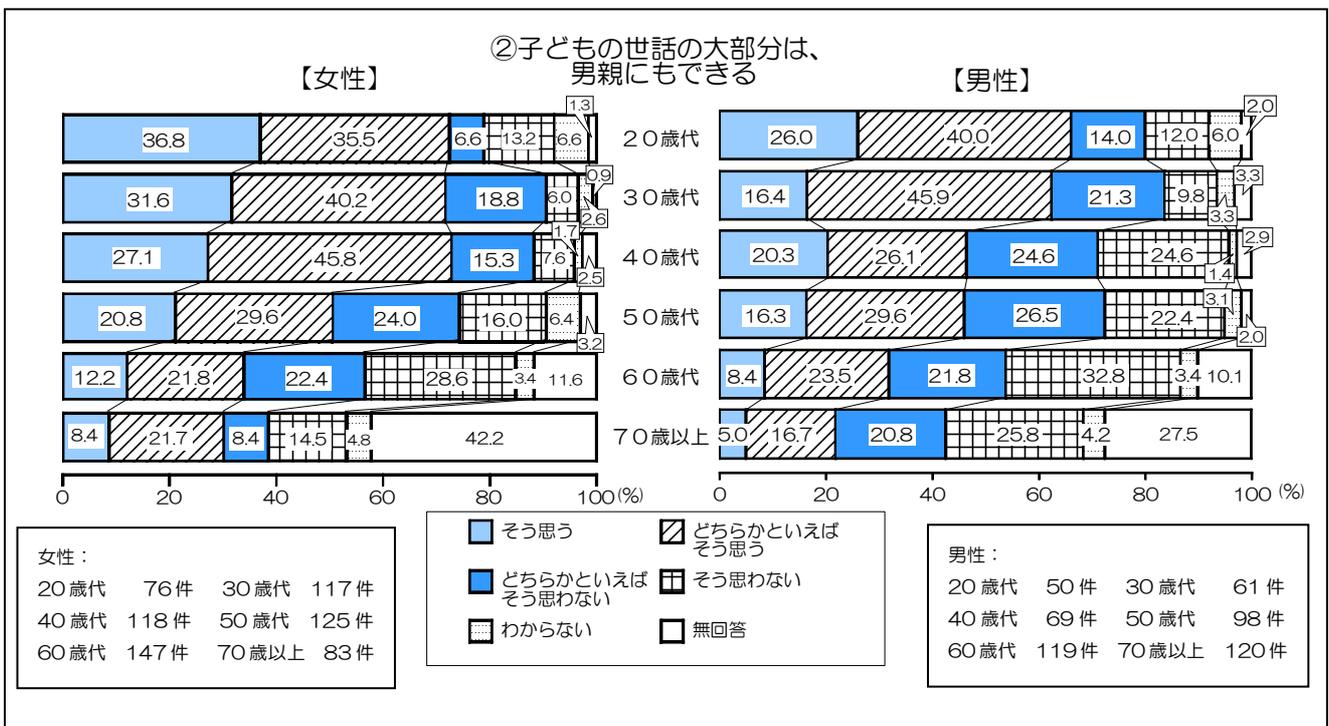
「⑧男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」では、全体で『肯定的意見』は88.5%と『否定的意見』(1.3%)を大きく上回っている。性別にみると、『肯定的意見』は女性で90.0%、男性で87.6%と女性の方が若干高くなっている。

「⑨女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」では、全体で『肯定的意見』は77.8%と『否定的意見』(9.8%)を大きく上回っている。性別にみると、『肯定的意見』は女性で82.3%、男性で72.7%と9.6ポイント女性が上回っている。(図4-3)

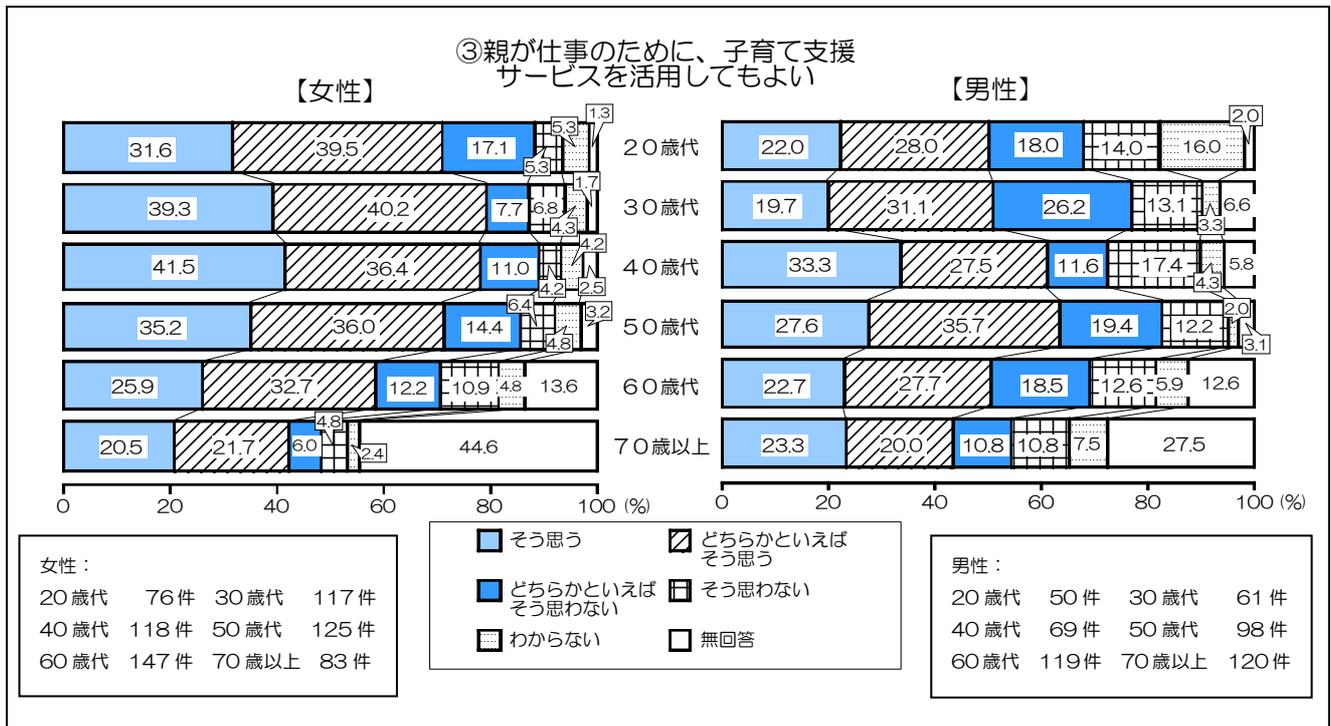
図4-3-1 性年齢別 子育てについての考え



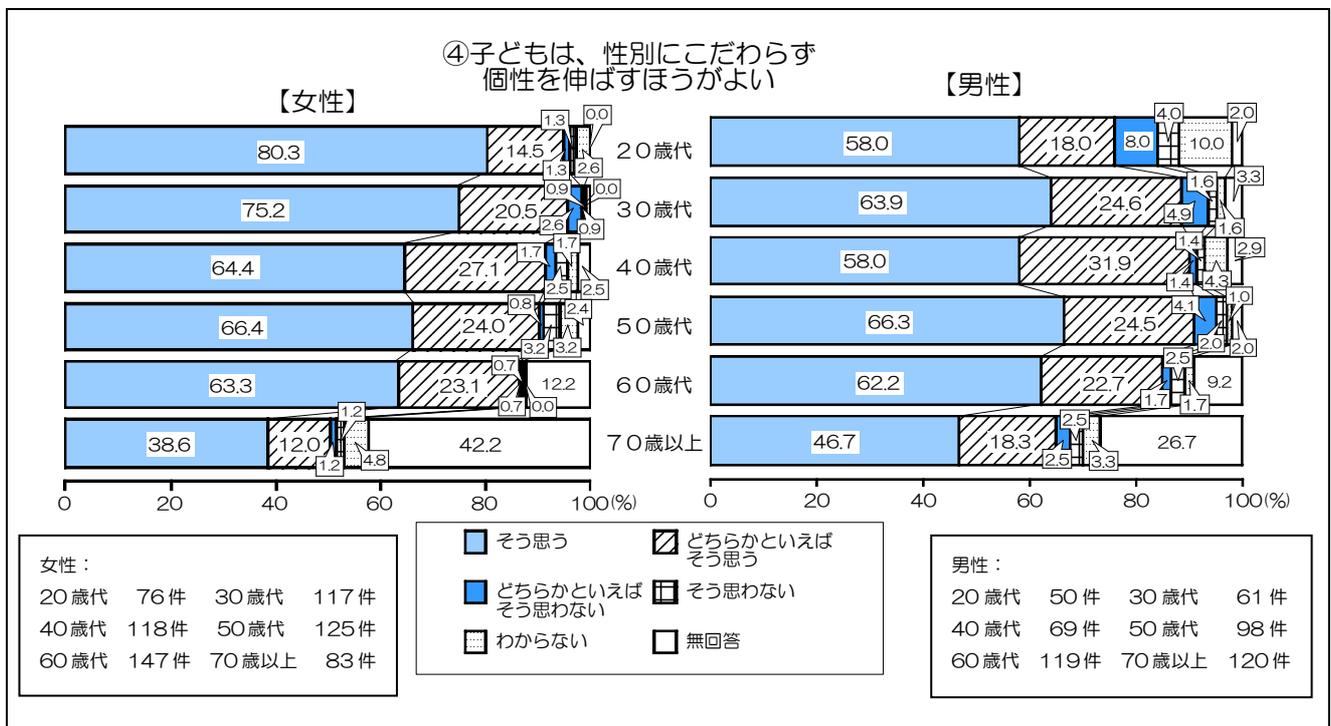
性年齢別にみると、『肯定的意見』は、男女とも 40～60 歳代で高くなっているが、「そう思う」という意見は 50 歳代を除いて、男性の方が高く、60 歳代では 74.8%と最も高くなっている。『否定的意見』は、女性の 30 歳代 (13.6%)、男性の 20 歳代 (12.0%) で高くなっている。



性年齢別にみると、『肯定的意見』は、男女とも年代が高くなるほど割合は低くなっている。女性は 40 歳代以下の年代で 7 割を超えているが、男性は 30 歳代以下で 6 割を超えている。男女ともそれ以上の年代になると『肯定的意見』は半数以下となり (女性 50 歳代を除く。)、70 歳以上では女性で 30.1%、男性で 21.7%となっている。『否定的意見』は、男性の 60 歳代 (54.6%) で最も高くなっている。



性年齢別にみると、『肯定的意見』は女性では30～40歳代で高く、年代が上がるほど割合は低くなっている。男性では40～50歳代で高く、20～30歳代と60歳代の年代で5割台とほぼ同程度となっている。『否定的意見』は、男性の30歳代（39.3%）で最も高くなっている。



性年齢別にみると、『肯定的意見』は女性では70歳以上を除く年代で8割を超えている。男性では20歳代と70歳以上を除く年代で8割を超えている。男性の20歳代は『肯定的意見』は76.0%にとどまり、『否定的意見』は12.0%と他の年代と比べて、最も高くなっている。